

**基本情報**

科目分類	総合教養科目	開講年次	1・2・3・4年
時間割コード	2U104	開講区分	第2クォーター
開講科目名	ESDボランティア論	曜日・時限	月5
主担当教員	清野 未恵子	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	U1BB100

[担当教員一覧](#)**詳細情報****■授業のテーマ**

(ESDコース修了認定科目)

ESDとは、互いに連携・協働しながら、あらゆる人が、持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。

ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。

**■授業の到達目標**

ESDボランティア論では、あらゆる人との関係づくりや学び合い（協働・共同・協同）を体験しながら、（互いに異質であることの面白さや出会いの大切さを感じながら）、頭と体と心をゆるめ、ほぐすことで、固定観念やこだわり、思い込みを学び捨てていきます。

ESDコースの他の科目とともに履修してもらうことで、ESDが立ち現れる仕掛けをつくる実践者（practitioner）としての「構え」（ESDに必要な価値・態度・技術）を、いったん身につけることを目的としています。

**■授業の概要と計画**

ESDに関連するボランティア団体からの話題提供と、それを通じたグループ対話から、ESDとボランティアの関係について考えます。

**この授業は、回によって遠隔授業（リアルタイム・オンデマンド）と対面授業を切り替えておこないます。** ※社会情勢をみながら、遠隔授業のみに変更する可能性もあります。

**【授業の進め方（予定）】**

遠隔授業（A）、対面授業（B）

- A：1回 6/14 ガイダンス「ボランティアとは」
- A：2回 6/21 ボランティアが社会を変える（1）
- A：3回 6/28 ボランティアが社会を変える（2）
- A：4回 7/ 5 ボランティアが社会を変える（3）
- A：5回 7/12 ESDとボランティアの関係を考える
- B：6回 7/26 この夏の私の活動を考える
- B：7・8回 8/ 2 ESD交流会（17:00～19:00）

※ESD交流会は、17:00～19:00の2時間で行います。

## ■成績評価方法

各授業における積極性、ボランティア活動参加、最後のレポートを総合的に判断します。

成績は90点以上をS（秀），80点以上90点未満をA（優），70点以上80点未満をB（良），60点以上70点未満をC（可）とします。

## ■成績評価基準

- ・ボランティアの多面性を理解できたか
- ・ボランティアと学びの関係を理解できたか
- ・自身の固定観念やこだわりや思い込みへの気づきがあったか

## ■履修上の注意（関連科目情報）

定員200名。希望人数が多い場合は抽選をするので、**必ず以下の説明会（どちらかの1回で可）に参加すること。これは自身で履修登録することはできない科目です。**

### 【オンライン説明会】

4月9日（金）12:30～13:10

4月13日（月）12:30～13:10

※いずれか1日だけの参加で構いません。

## ■事前・事後学修

ESDコースの説明をHP等で確認しておいてください。また、授業中に出された参考文献を読解するとともに、課題について自分なりの考えを組み立ててください。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

## ■学生へのメッセージ

ESDコース修了認定に関心のある人は、この授業、または、「ESD基礎」を履修すること。

ESDコース修了認定については、人間発達環境学研究科のホームページにある「神戸大学ESDコース」を参照のこと。

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd>

## ■教科書

特に定めませんが、ESDやSDGに関連する書籍が多く出版されていますので、ご自身で探してみてください。そこから主体的な学びが始まります。

## ■参考書・参考資料等

授業中に随時指示します。

## ■授業における使用言語

日本語

## ■キーワード

ESD（持続可能な開発のための教育） ボランティア 体験的学習 SDGs

## ■参考URL

<http://esd-tourprogram.org/esd/events/>

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd>

---

## 担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科